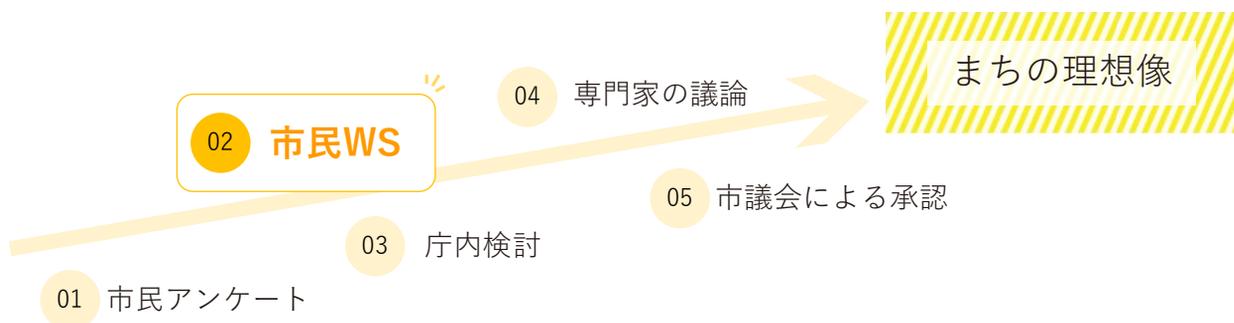




いばらきの未来を考えよう！

まちの未来を語り合う市民ワークショップ



茨木市では、まちの理想像となる「次期総合計画」の策定を進めています。市民の皆さまと理想となるまちの将来像を考えるために、全4回の市民ワークショップを開催しました。

第1回目28名、第2回目22名、第3回目25名、第4回目32名、合計107名の参加があり、熱気があふれたワークショップとなりました！

当日の流れ

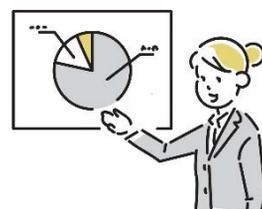
開会

- 茨木市より開会のあいさつ



オリエンテーション

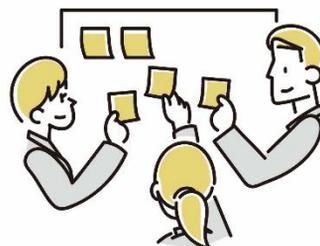
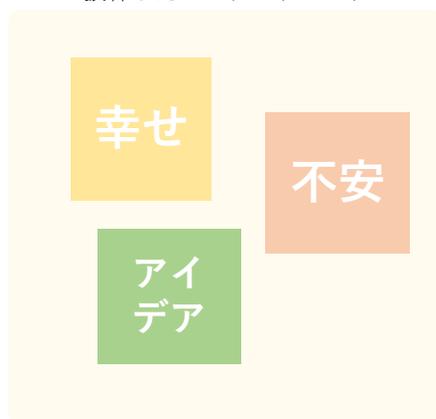
- 茨木市の総合計画について、
市民アンケートについて簡単な説明



ワークショップ

- まず、アンケートカードから共感する
「どのような時に幸せを感じますか？」を
とりだして、「こんな幸せもある」追加し
ました。
- 次に、アンケートカードから共感する
「どのようなときに不安・不満を感じます
か？」をとりだして、「こんな不安・不満
もある」を追加しました。
- 上記で出たカードを、よく似た意見、関連
する意見でグルーピングし、さらに「幸せ
を高める」「不安を解消する」アイデアを
考えました。
- 最後に、グループごとにキャッチフレーズ
を考えました。

市民アンケートから
抜粋したアンケートカード



当日の様子



各回のテーマ 01

- 第1回目:9月9日(土) 10:00~12:00
「福祉・健康」「子育て・教育」
「安全・安心」「自然環境・地球環境」
第2回目:9月9日(土) 15:00~17:00
「文化・スポーツ・交流」
「産業・都市基盤・交通」「市民活動」

各回のテーマ 02

- 第3回目:9月20日(水) 14:00~16:00
「福祉・健康」「自然環境・地球環境」
「文化・スポーツ・交流」
第4回目:9月21日(木) 19:00~21:00
「文化・スポーツ・交流」「デジタル」
「安全・安心」「産業・都市基盤・交通」



幸せを感じることに

＼ 市民ワークショップにおける主なご意見 ＼



福祉・健康

- ・病気や健康への不安を感じないとき。
- ・友人たちと会って遠慮なく話ができるとき。
- ・美味しいものを大切な人と食べられたとき。
- ・休日の日の朝からの温泉。
- ・スポーツや山登りで汗を流したとき。



子育て・教育

- ・家族みんなで会話をしているとき。
- ・家族や友人と旅行しているとき。
- ・子供の成長を感じる時。
- ・自分が役に立っていると感じたとき。
- ・一日一日が健康に暮らせること。



安全・安心

- ・100人規模の死者が出る事故・大地震がなかった。
- ・大地震に襲われなかった。



自然環境・地球環境

- ・市の石炭火力焼却場が何とかならないかと考えているとき。
- ・太陽光パネルのある家を見たとき。
- ・市の政策で公共施設に再生可能エネルギーを導入されたとき。
- ・庭で赤ピーマンができて、食べたらいいしかったとき。
- ・無農薬有機の野菜ができたとき。
- ・早朝、緑の多い中を散歩するとき。



文化・スポーツ

- ・静かなカフェでゆっくり過ごすとき。
- ・休日に映画をみる。
- ・心が落ち着く音楽を聴いているとき。
- ・家でゆっくり、好きなドラマを見ながら、くつろいでいるとき。
- ・けがとかなく一日無事に過ごせたとき。
- ・趣味に没頭できているとき。（読書・歴史探訪）



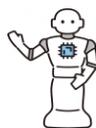
産業・都市基盤・交通

- ・静かなカフェでゆっくり過ごすとき。
- ・ブラブラとお店を巡ったり、気ままに買い物しているとき。
- ・街で新しい店や場所を発見したとき。
- ・帰宅したとき。
- ・自然の中でゆったり過ごすとき。
- ・早朝、緑の多い中を散歩するとき。
- ・ペットの犬と公園を散歩するとき。



市民活動

- ・町内で一人暮らしのお年寄りの困りごとに役立ったとき。（雑草除去など）
- ・仕事が充実し、社会の役に立っていると感じる時。



デジタル

- ・好きなユーチューバーが動画を上げた時に感じる
- ・ゲームをしているとき
- ・スマホを見ているとき

不安・不満に感じること

／ 市民ワークショップにおける主なご意見 ／



福祉・健康

- ・ 家族の介護が大変。
- ・ 老後の災害発生時が不安。
- ・ 高齢者の移動の不安。
- ・ 相談窓口や頼れる専門職がわかりにくい。
- ・ コロナ禍での体力の低下。健康への影響。
- ・ 総合病院が少ない。
- ・ 救急でかかる病院が少ない。



子育て・教育

- ・ 先生が足りていない。
- ・ 校舎の老朽化が進んでいる。
- ・ ほかの市との学習格差があると思う。
- ・ 小中学校での指導方法など、古いと感じることが多い。
- ・ 自由に使える学習スペースが少ない。
- ・ 若者が結婚する人が減り、子どもが減っているのではないかと。



安全・安心

- ・ 街灯が少なく夜道の移動が不安。
- ・ 狭い道が多く、火災発生時に延焼などが心配。
- ・ マンションの耐震化が心配。



自然環境・地球環境

- ・ 温暖化対策が全然進んでいない。
- ・ 春や秋が短くなってきた。
- ・ 街路樹が全然少ない。
- ・ 宅地開発が進み、緑や畑が少なくなった気がする。
- ・ まちなかに自然を感じられる場所が少ない。
- ・ ゴミ分別が大雑把で、何でも燃やしている。
- ・ ゴミ減量の目標、政策が不明瞭。
- ・ ゴミの分別が進んでいない。
- ・ プラスチック製品が未だにたくさんあふれている。



文化・スポーツ

- ・ 週末・夜間に受講できるカルチャースクール系が少ない。（又は情報が少ない）
- ・ サークル活動に参加しにくい。
- ・ 伝統的なものがなくなってしまう。（お祭りなど）
- ・ 交流の場が少ない。
- ・ 他地域との交流の場があったとしてもその存在を日常的に知れない。
- ・ 大学との連携がもっとあればよい。（立命館、追手門など）



産業・都市基盤・交通

- ・ 近隣が高齢化しており、将来空き家が増えないか不安。
- ・ 中心部で自転車がなくて歩きづらい。
- ・ 市街地以外に行くときは車がないと不便。
- ・ 道路渋滞が慢性化している。
- ・ 足が弱くなったとき移動できるか不安。



市民活動

- ・ 近所に知り合いが少なく何かあったときに不安。
- ・ 地域のつながりが希薄になってきている。
- ・ 地域のつながりをつくる方法がわからない。
- ・ 地域の見守りが少なく不安。
- ・ 世代間の交流が少ない。
- ・ 高齢になると孤立してしまう。

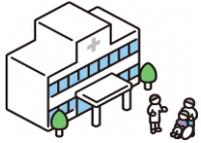


デジタル

- ・ 子どもの宿題のデジタル化を進めてほしい。
- ・ デジタル化が進むのはいいが、高齢者も使えるようにしてほしい。

まちをより良くするアイデア

＼ 市民ワークショップにおける主なご意見 ／



福祉・健康

- ・あらゆる施設のバリアフリー化。
- ・高齢者が集まれる場所（情報の配信）。
- ・市内を移動できるバスの充実。
- ・自分の情報を伝えたら制度を聞かなくても教えてくれる。
- ・けが・病気になる前の予防、健康づくり。



子育て・教育

- ・先生になろうと思えるきっかけをつくる。
- ・老朽化している建物の把握、再開発。
- ・古い慣習をなくす。子ども、地域の意見を聞く。
- ・学習スペースの周知。



安全・安心

- ・道路の整備を行う。
- ・道路の拡張。
- ・ご近所とのあいさつ、お声掛け、コミュニケーション。



自然環境・地球環境

- ・ゴミの分別のやり方をしっかり広報する。
- ・街路樹を増やす。
- ・プラスチックなど分類別で集める。



文化・スポーツ

- ・コミュニティラジオやYouTubeを活用した茨木（北摂）の歴史文化に係るチャンネルの創設。
- ・歴史文化を活用した旅行商品のタイアップ。
- ・官民での連携しての事業、他自治体との事業を行う。



産業・都市基盤・交通

- ・コミュニティスペースを増やす。（空き家を活用）
- ・空き家を改装して店舗に。
- ・自転車専用レーンや駐輪場の充実。
- ・北部へつながるバスの充実。



市民活動

- ・地域活動に対して報酬を支払う。
- ・高齢者による子育て相談。
- ・スマホで簡単に活動内容、活動日の検索ができる。



デジタル

- ・宿題担当デジタル人材。
- ・相談役も育成する。

主なキャッチフレーズ 01

福祉・健康

- ・高齢者がいきいきなまち
- ・支え合えるまち
- ・すこやかなまち
- ・子供がのびのびなまち



子育て・教育

- ・先生も子どももいきいきするまち
- ・地域ぐるみで子どもの成長を感じる
- ・学びや出会いの場のあるまち

安全・安心

- ・防犯に強いまち
- ・災害に強いまち
- ・美しく生きるまち



※全4回の中から抜粋しています。

主なキャッチフレーズ 02

文化・スポーツ

- それぞれの幸せをかなえることのできるまち
- 日々の暮らしに幸せを感じられるまち
- 学ぶ機会があり学ぶ幸せを感じられるまち
- プレイヤーもサポーターもスポーツで幸せを感じられるまち



産業・都市基盤・交通

- 人が集うまち
- 内からも外からもアクセスしやすいまち
- 身近に自然があるまち

デジタル

- こどもの時間が増えるまち
- どこでも市役所なまち
- 家より快適なまち



※全4回の中から抜粋しています。

おわりに



全4回の市民ワークショップを実施する中で、市の将来像に通じる議論を深めることができました。

いただいたご意見等を参考に次期総合計画の策定に努めて参ります。

ご参加いただいた市民の皆様、ご協力ありがとうございました！

茨木市総合計画策定プロジェクト ニュースレター

発行日:令和5年10月16日

発行:茨木市企画財政部政策企画課

TEL:072-620-1605 /E-mail:kikaku@city.ibaraki.lg.jp